

平成19年度看護部教育計画  
(キャリア開発ラダー)

あなたの成長を  
支えるため  
しっかりとした  
教育プログラムを  
準備しています。

当院では、看護のジェネラリスト育成をめざして、  
キャリア開発ラダーに沿った教育を行っています。



| レベルⅠ（新人）  |       |                                                                                                           |
|-----------|-------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1年目       |       |                                                                                                           |
| 臨床能力段階    | 評価項目  |                                                                                                           |
| 看護実践能力    | 知識    | <理論的知識><br>①日常のケアに必要な基礎知識（バイタルサイン・検査値などの正常値、解剖生理、一般論など）を活用できる<br><実践的知識><br>①助言を受けながら、日常の体験の中から気づき、学ぼうとする |
|           | 判断    | ①ガイドラインのマニュアルに基づいて対応できる<br>②指導を受けながら優先度を決定できる<br>③時間をかければ自力で判断することもできる                                    |
|           | 行為    | ①ガイドラインやマニュアルに沿った行為ができる<br>②指導を受けながら新しいことを身につけようとする<br>③対象のニーズに目を向けようとする<br>④時間をかければ適切な行動をとることができる        |
|           | 行為の結果 | ①誠意ある行為によって、対象者が満足することがある<br>②指導を受ければ、問題解決することがある<br>③行為することで小さな満足を得ることがある                                |
| 組織的役割遂行能力 | 職場    | ①職場の概要について知っている<br>②チームメンバーとしての役割を發揮できる<br>③自己の健康管理に気を配る                                                  |
|           | 倫理    | ①「看護師の倫理綱領」について知っている                                                                                      |
|           | チーム医療 | ①報告・連絡・相談を実行する<br>②関連各部門・他職種との連携を意識する                                                                     |
|           | 接遇    | ①接遇の重要性を意識し、実践を試みている                                                                                      |
|           | 安全    | ①事故防止対策・感染対策・災害対策についてマニュアルに沿って行動する                                                                        |
| 自己教育・研究能力 | 病院経営  | ①時間や物品のコストを把握し、効率良く使うよう努める                                                                                |
|           | 教育    | ①自己啓発のための教育環境を知っている<br>②職場の教育プログラムに沿って学習する<br>③職場の教育の理念、システムを知っている<br>④看護学生の実習目的・目標を知っている                 |
|           | 研究    | ①院内看護研究発表会、院外の学会・研究会に参加する<br>②看護研究を読む                                                                     |

| レベルⅡ（一人前）                                                                              |       |                                                                                                                                      |
|----------------------------------------------------------------------------------------|-------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 2～3年目（その日のリーダーレベル）                                                                     |       |                                                                                                                                      |
| 臨床能力段階                                                                                 | 評価項目  |                                                                                                                                      |
| 所属する看護職場で、日常的に必要な看護実践は、単独で実践できる。                                                       | 知識    | <理論的知識><br>①専門領域における知識を深め、活用できる<br><実践的知識><br>①過去の体験を応用できる<br>②対象の個性を考慮できる<br>③経験によって視点が広がる                                          |
|                                                                                        | 判断    | ①状況を多面的・分析的に把握できる<br>②自力で優先度を決定できる<br>③予測不可能な場面（患者の急変など）にも可能な範囲で対応し判断できる<br>④対象を多面的・分析的に理解できる                                        |
|                                                                                        | 行為    | ①対象の反応によりニーズを把握し、それに応えようとする<br>②融通性やスピードには欠けるが、多くの偶発的出来事に処置できる                                                                       |
|                                                                                        | 行為の結果 | ①対象のニーズを概ね充足することができる<br>②時に失敗することはあるが、問題解決できる<br>③行為を通して満足を得ることができる                                                                  |
| 所属する看護職場で、日常的な組織的役割が遂行できる。看護チームでは、チームリーダーやコーディネーターの役割、病棟での係としては、創造的能力を要求される係の役割を遂行できる。 | 職場    | ①職場の環境や物品に気を配り、問題を提示できる<br>②係の活動を通じて、職場の活性化の一端を担う<br>③日常の業務が円滑に進むようリーダーシップを發揮できる<br>④済生会の理念に基づいた病院経営に関心をもつ<br>⑤自己の健康管理法を身につける        |
|                                                                                        | 倫理    | ①医療／看護の倫理と現実の間のジレンマを経験し、対処に努めることができる                                                                                                 |
|                                                                                        | チーム医療 | ①関連各部門・他職種の職務を理解し、情報を交換できる                                                                                                           |
|                                                                                        | 接遇    | ①接遇の本質を理解して対象に接することができる                                                                                                              |
| 自己の教育的課題達成に向けた教育活動を展開することができる。                                                         | 安全    | ①事故防止対策・感染対策・災害対策について、問題を提起できる                                                                                                       |
|                                                                                        | 病院経営  | ①診療報酬体系に関心に向け、自分たちの仕事に結びつけて考えることができる                                                                                                 |
|                                                                                        | 教育    | ①自己啓発のための教育環境を活用し、学びを伝達し教育を試みようとする<br>②学生や後輩の指導に関心をもち、参画する<br>③自己のキャリア開発を意識しながら積極的に継続的に院内外の教育活動に参加する<br>④援助を受けながら、職場内の勉強会の企画・運営に参画する |
|                                                                                        | 研究    | ①日々の業務の中から研究のテーマを見出し、計画書作成のための情報収集・相談をする<br>②協力して看護研究に取り組み発表する                                                                       |

| レベルⅢ（中堅）                                                                            |       |                                                                                                                                  |
|-------------------------------------------------------------------------------------|-------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 4年目以上（チームリーダー・サブリーダー・臨床指導者）                                                         |       |                                                                                                                                  |
| 臨床能力段階                                                                              | 評価項目  |                                                                                                                                  |
| 所属する看護職場で、高度な看護実践を行い、さらにモデル的な看護実践の教示をすることができる。                                      | 知識    | <理論的知識><br>①身体的、精神的、社会的知識を総合し応用できる<br>②状況に応じて知識を活用・応用できる<br><実践的知識><br>①一連の流れの中で、対象に現在起こっていることを瞬時に把握できる<br>②経験を取り入れ、積極的に適用しようとする |
|                                                                                     | 判断    | ①状況や対象を全体的・包括的に捉え、変化を予測できる<br>②独自の意思決定の基準をもっている<br>③個性を重視した柔軟な対応ができる<br>④状況にかかわる自分の心の動きを察知することができる                               |
|                                                                                     | 行為    | ①対象の顕在的・潜在的ニーズを把握し、それに合わせて工夫する<br>②偶発的な出来事に対して速やかに対応できる                                                                          |
|                                                                                     | 行為の結果 | ①対象の複雑なニーズを充足することができる<br>②臨機応変に問題解決ができる（失敗の前に修正できる）<br>③不満足感を次のステップとして前向きに処理できる                                                  |
| 所属する看護職場で、特殊なまたは専門的な能力を必要とされる役割、または指導的な役割（学生指導、業務改善係、学習会係、教育委員、リスクマネジメント係など）を遂行できる。 | 職場    | ①職場の目標達成に向けて活動を推進する<br>②職場のリーダーとしてリーダーシップを發揮できる<br>③済生会の使命を理解した上で、病院経営に積極的に参画する                                                  |
|                                                                                     | 倫理    | ①医療／看護の倫理と現実の間のジレンマを客観的に考察し、対処に努めるとともに、後輩に対して助言できる                                                                               |
|                                                                                     | チーム医療 | ①関連各部門・他職種と交渉／調整できる                                                                                                              |
|                                                                                     | 接遇    | ①職場全体の接遇の向上を推進する                                                                                                                 |
|                                                                                     | 安全    | ①職場内の安全対策に関して、積極的に提案できる                                                                                                          |
| 自己の教育活動に積極的に取り組むとともに、教育活動について指導的な役割を実践することができる。                                     | 病院経営  | ①医療経済の動きに関心をもち、病院の経営方針に協力する                                                                                                      |
|                                                                                     | 教育    | ①学生や後輩の指導者として中心的役割を遂行する<br>②自己の専門領域に関する開発プログラムを自分から探して積極的に参加し、その結果を同僚や後輩に効果的に伝達する<br>③職場内の教育活動のリーダーシップをとる                        |
|                                                                                     | 研究    | ①看護研究を中心に進め、院内外に発表し広めようとする<br>②研究の結果を臨床に活用しようとする<br>③実践の報告などを投稿する                                                                |

| 1年目     |        |                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|---------|--------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 研修プログラム | 段階別研修  | ○新規採用者オリエンテーション①②<br>○看護技術演習<br>○新人フォロー研修（5月・8月・10月・2月反省会）<br>○効果的なME機器の使い方<br>○心電図の基礎的知識<br>○技術披露研修会<br>○看護倫理Ⅰ「看護師の倫理綱領」（新人オリエンテーション）<br>○褥瘡ケアⅠ<br>○感染管理Ⅰ「スタンダード・プリコーション、CDCガイドラインについて」<br>○リスクマネジメントⅠ「事故防止のための薬剤・輸血の知識」<br>○リスクマネジメントⅡ<br>①「内服薬」<br>②「点滴・静脈注射薬剤」 |
|         | キャリア開発 |                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|         | 役割研修   |                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|         | 共通     | ○リスクマネジメント研修 2回／年<br>○医療・生命倫理研修 1回／年<br>○感染防止研修（感染症トピックス） 1回／年                                                                                                                                                                                                     |
|         | 他      | ①既卒新人フォロー研修<br>②パート看護師・准看護師研修<br>③ストーマケアⅠ・Ⅱ・Ⅲ                                                                                                                                                                                                                      |

| 2年目                                                                                                              | 3年目                                        |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------|
| ○看護ケアを考える<br>○看護ケアⅠ（ナラティブ）<br>「日常ケアの気づき」<br>○リスクマネジメントⅢ<br>「現場で見えなかったリスクについて」                                    | ○事例検討<br>○リスクマネジメントⅣ<br>「自分の目で見てリスクを発見しよう」 |
| ○感染管理Ⅱ「当院でよく遭遇する感染症への対応について」<br>○呼吸リハビリテーションⅡ「呼吸器合併症予防のための知識と実践」（3回…1回1時間）<br>○看護研究Ⅰ「研究メンバーとして研究してみよう」<br>○嚥下訓練Ⅰ |                                            |
| ○サポーターフォロー研修                                                                                                     | ○プリセプターフォロー研修                              |
| ○リスクマネジメント研修 2回／年<br>○医療・生命倫理研修 1回／年<br>○感染防止研修（感染症トピックス） 1回／年                                                   |                                            |
| ①既卒新人フォロー研修<br>②パート看護師・准看護師研修<br>③ストーマケアⅠ・Ⅱ・Ⅲ                                                                    |                                            |

| 4年目                                                                                                                                                  | 5年目以上                      |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------|
| ○看護倫理①②（M・ニューマン理論）<br>○看護倫理Ⅱ「倫理綱領について」                                                                                                               | ○より良い看護ケアをめざして①②<br>○褥瘡ケアⅡ |
| ○看護ケアⅡ（ナラティブ）「リーダーシップを發揮する中での気づき」<br>○呼吸リハビリテーションⅢ「呼吸器合併症を起こした患者への援助」（2回…1回1時間30分）<br>○看護研究Ⅱ「主体的に看護研究に取り組んでみよう」<br>○褥瘡ケアⅢ<br>○嚥下訓練Ⅱ<br>○他部署の看護を体験しよう |                            |
| ○チームリーダー・サブリーダー研修「自慢したい私の部署の看護ケア」<br>○プリセプターフォロー研修                                                                                                   |                            |
| ○リスクマネジメント研修 2回／年<br>○医療・生命倫理研修 1回／年<br>○感染防止研修（感染症トピックス） 1回／年                                                                                       |                            |
| ①既卒新人フォロー研修<br>②パート看護師・准看護師研修<br>③ストーマケアⅠ・Ⅱ・Ⅲ                                                                                                        |                            |